

## 第9回 特定複合観光施設区域整備推進本部 会合 議事録

日時：令和5年4月14日（金） 7：47～7：55

場所：官邸2階大ホール

### 議事録

（斉藤 I R 担当大臣）

ただいまから、特定複合観光施設区域整備推進本部を開催いたします。議事進行を務めます、副本部長の斉藤です。会議の公開等については、他の本部の例にならい、議事録及び配布資料は、原則として、本部会合終了後、速やかに公開することとします。

それでは議事に入ります。まずは、国土交通大臣として、私より I R 区域整備計画について、ご説明いたします。

お手元の資料「I R 区域整備計画について」の1ページ目をご覧ください。昨年4月に、大阪と長崎の2地域から計画の認定申請があり、I Rの基本方針に基づき設置した、外部有識者からなる審査委員会において、公平・公正な審査を行ってまいりました。I R整備法において、国土交通大臣が認定する際には、I R推進本部の開催・意見聴取が必要となっており、本日は認定についてご意見を聴取したいと考えております。

2ページ目をご覧ください。申請された2地域の計画の概要についてご説明申し上げます。大阪については、夢洲において1兆800億円の投資規模を見込む計画となっております。2029年秋頃から冬頃における開業が見込まれております。長崎については、ハウステンボスにおいて4,383億円の投資規模を見込む計画となっております。2027年度の第2四半期から第3四半期における開業が見込まれております。

3ページ目をご覧ください。I Rの基本方針に基づく認定審査の基準について説明いたします。認定申請のあった計画については、まず、左側の、認定を受ける前提として必ず適合しなければならない「要求基準」に適合するかどうかの確認を行った上で、右側の、優れた計画を認定するための25項目の「評価基準」に従い、審査を行うこととなっております。

4ページ目をご覧ください。審査結果について説明いたします。まず、審査委員会において、7人の審査委員の採点の平均点を審査委員会の点数とし、合計点1,000点の6割に当たる600点以上であることが認定の条件とされました。約1年にわたる審査委員会で、審査基準に従い、十分かつ丁寧な審査を行った結果、大阪は657.9点となり、「認定し得る計画」と評価されました。なお、長崎の計画については現時点で審査が終了しておらず、引き続き審査を継続することとされております。

このような審査結果に基づき、今般、国土交通大臣として「大阪・夢洲地区特定複合観光施設区域の整備に関する計画」を認定したいと考えており、このことについてご意見を聴取いたします。ご意見ございますでしょうか。

ありがとうございました。ご意見ないものと承知をいたしました。

関係行政機関の長への協議を終了しており、また、この本部会合の結果を踏まえまして、大阪の計画につきましては、この後、認定させていただきたいと存じます。なお、審査委員会より、計画の実施段階に向けて申請者において検討等が求められる点として、例えば、依存防止対策に関して定期的に検証し必要な措置を講じることなどが示されております。今後、申請者による対応の状況を十分確認してまいります。その上で、I Rを十分生かしながら、観光先進国の実現に向けて取り組んでまいります。

最後に、本部長である岸田内閣総理大臣から御発言を頂きたいと思っております。その前にプレスを入室させます。

(プレス入室)

それでは、岸田内閣総理大臣から御発言をお願いいたします。

(岸田内閣総理大臣)

I Rの区域整備計画に関しては、I R整備法等に基づき、国土交通大臣により設置された審査委員会において審査が進められてきました。本日、その結果を踏まえ、国土交通大臣が大阪の区域整備計画の認定を行うこととなりました。

I Rは、国内外から多くの観光客を呼び込むものとして、我が国が観光立国を推進する上で重要な取組です。大阪のI Rについては、2025年の大阪・関西万博の開催後の関西圏の発展や我が国の成長に寄与するとともに、日本の魅力を世界に発信する観光拠点となることが期待されています。今後、開業に向けて、I R整備法に基づき、カジノ免許の審査等が行われる予定です。I R推進の取組が、観光先進国の実現に向けて効果的なものとなるよう、引き続き、I R整備法に基づく手続を適切に進めるとともに、関係機関において、依存防止対策も含めた環境整備に取り組むようお願いをいたします。

(斉藤I R担当大臣)

ありがとうございました。プレスの方々のご退室をお願いいたします。

(プレス退室)

ありがとうございました。第9回本部会合は、以上をもって終了いたします。

なお、本日の本部会合の概要については、閣議後記者会見において私から報告いたしますとともに、事務方から記者ブリーフィングを行う予定でございます。

本日はどうもありがとうございました。